

京都きもの友禅株式会社

2017年3月期 決算説明会

■ 振袖を入口とした呉服販売

- 成人式対象者を新規客として毎年獲得
- 振袖34%、一般呉服47%、宝飾12%、レンタル7%(17/3期実績)

◆ 現金買取方式による安価な仕入

- 一流メーカーと直接交渉の上、高品質な商品を大量発注

◆ DMを中心とした効果的な集客

- 2017年成人対象女性:約58万人(内、当社商圈人口:約48万人)

◆ オフィスビルを中心とした出店で出店費用を圧縮

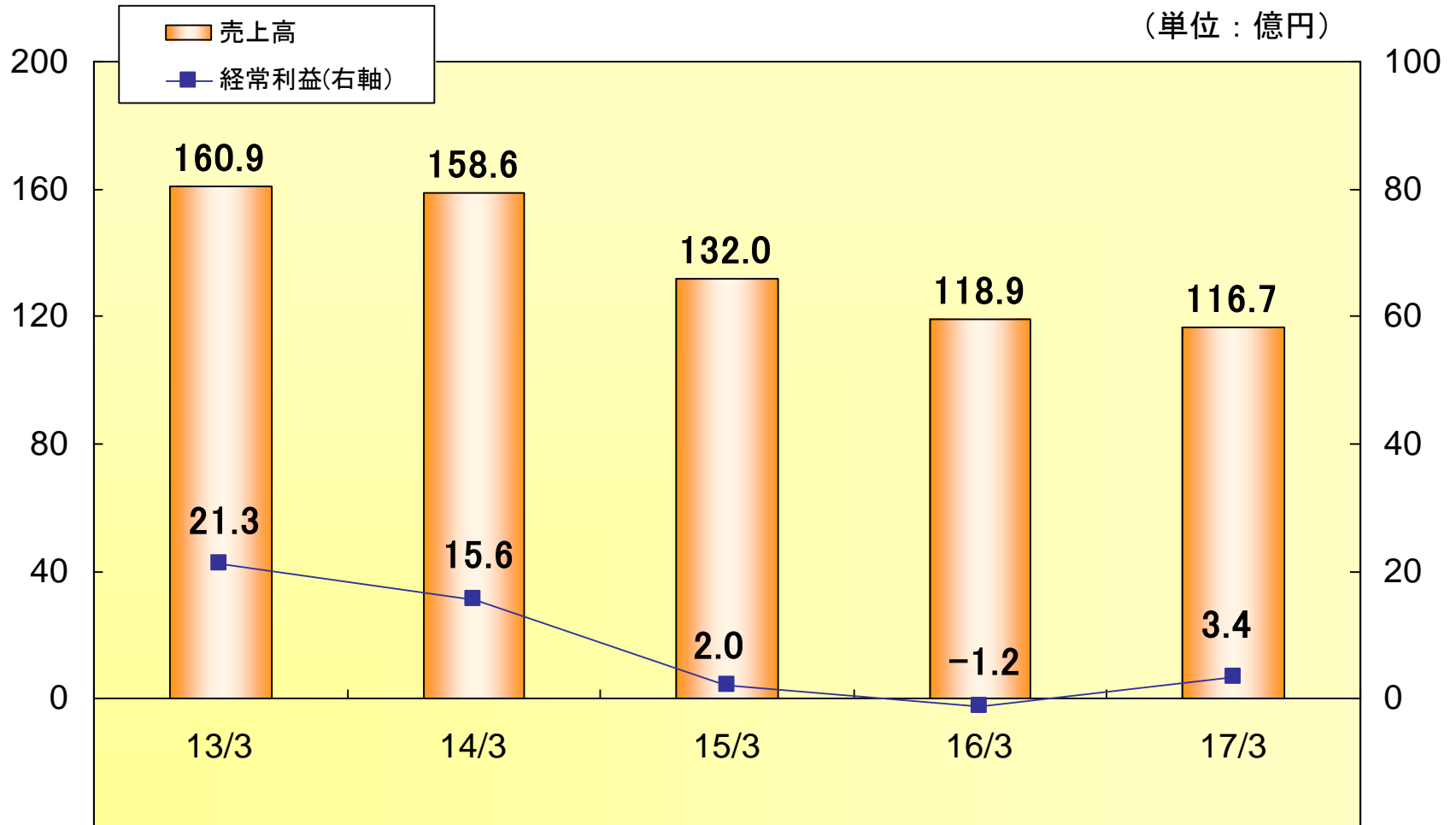
- 1店舗当たりの出店コストは駅ビル等の1/2~1/3程度

■ 友の会制度を中心とした優良顧客の確保

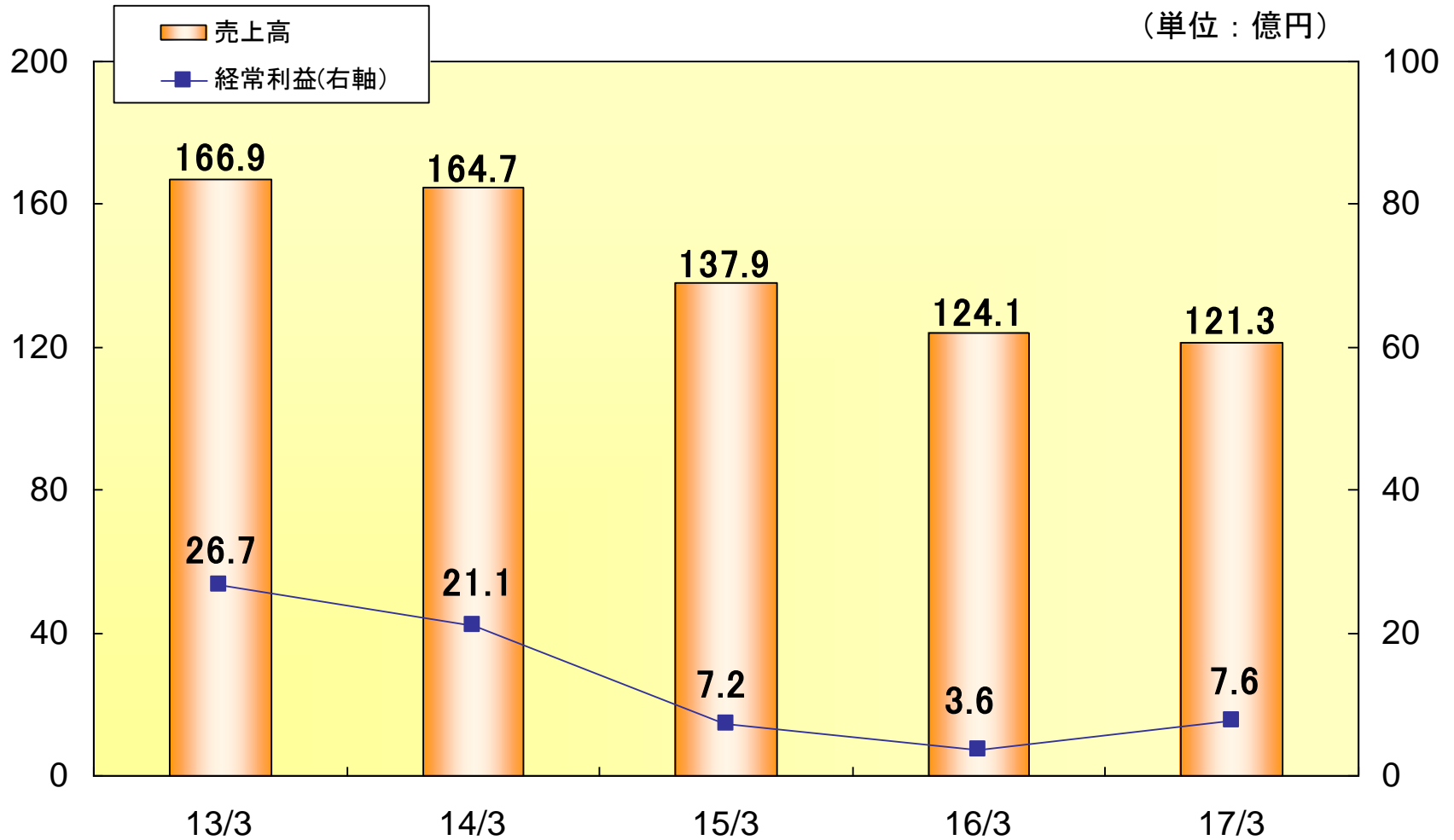
- 振袖成約者の母親を中心に約33%が友の会へ入会

2017年3月期 業績概要

17/3期業績－ ①業績の推移（単体）（金融サービス事業除く）



17/3期業績－ ②業績の推移（連結）



17/3期業績一 ③損益抜粋（単体）（金融サービス事業除く）

（単位：百万円、％）

	2016/3実績		2017/3実績		前年比	計画比	2017/3当初計画	
		売上比		売上比				売上比
受注高	12,173		11,763		96.6	84.6	13,900	
売上高(出荷高)	11,893	100.0	11,665	100.0	98.1	85.6	13,630	100.0
売上総利益	7,574	63.7	7,515	64.4	99.2	86.4	8,702	63.8
販管費	7,832	65.9	7,335	62.9	93.6	87.4	8,390	61.6
内) 広告・販促	2,425	20.4	2,137	18.3	88.1	80.1	2,667	19.6
人件費	3,546	29.8	3,385	29.0	95.5	94.8	3,571	26.2
営業利益	△259	△2.2	180	1.5	—	—	312	2.3
営業外損益	138	1.2	156	1.3	113.0	181.0	86	0.6
経常利益	△121	△1.0	336	2.9	—	—	398	2.9
特別損益	△961	△8.1	△51	△0.4	—	—	△5	△0.0
当期純利益	△1,074	△9.0	171	1.5	—	—	237	1.7

- 受注高……振袖【前年比+2.1%】、一般呉服等【前年比△8.8%】、レンタル【前年比+30.7%】。
- 広告費……DM発送回数増加によるコスト増があったものの、前期はTVCMを実施したことにより、総額としては前年比△157百万。
- 販促費……主に一般呉服催事において経費の削減・効率化を図ったことに伴い、総額としては前年比△131百万。
- 人件費……期中平均人員数(前年同期比△40人、計画比△18人)
- 特別損益……店舗の減損損失を46百万計上(前期は店舗の減損損失を、1,043百万計上。投資有価証券売却益を86百万計上。)

17/3期業績一 ④損益抜粋（連結）

（単位：百万円、％）

	2016/3実績		2017/3実績		前年比	計画比	2017/3当初計画	
		売上比		売上比				売上比
受注高	12,693		12,228		96.3	85.0	14,390	
売上高(出荷高)	12,413	100.0	12,130	100.0	97.7	85.9	14,120	100.0
売上総利益	7,918	63.8	7,820	64.5	98.8	86.7	9,020	63.9
販管費	7,678	61.8	7,194	59.3	93.7	87.6	8,212	58.2
内) 広告・販促	2,430	19.6	2,138	17.6	88.0	80.2	2,667	18.9
人件費	3,557	28.7	3,396	28.0	95.5	94.8	3,583	25.4
営業利益	240	1.9	626	5.2	260.2	77.5	808	5.7
営業外損益	119	1.0	137	1.1	114.6	215.8	63	0.4
経常利益	360	2.9	762	6.3	212.0	87.5	871	6.2
特別損益	△961	△7.7	△51	△0.4	—	—	△5	△0.0
当期純利益	△783	△6.3	450	3.7	—	86.6	520	3.7

1株利益(EPS)	△65.57円	37.69円	—	86.6	43.54円
------------------	---------	---------------	---	------	--------

※ 金融サービス事業および連結子会社の連結損益への影響額

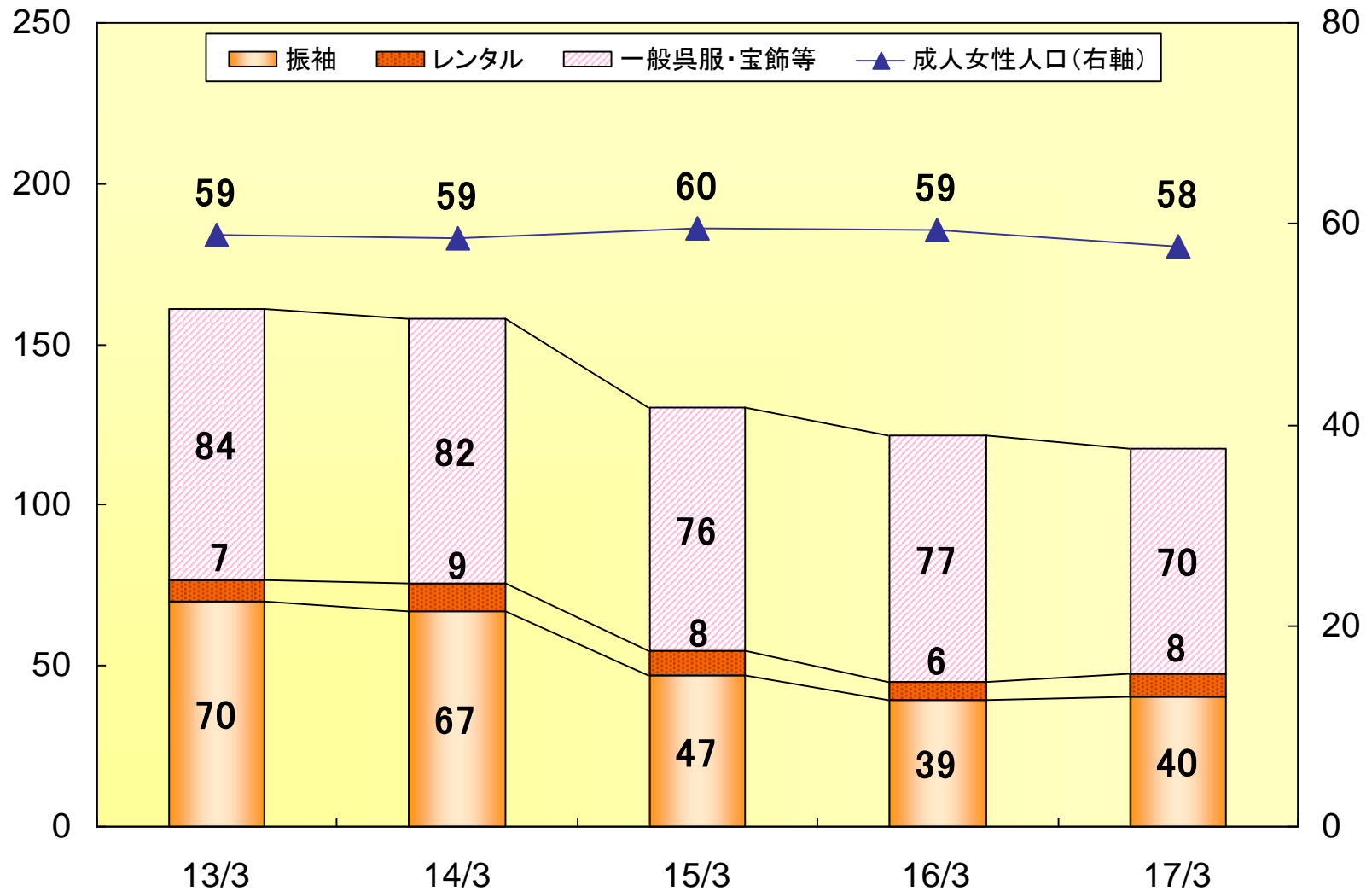
●金融サービス事業：売上高【+529百万】、営業利益【+380百万】

●友の会：売上高【△64百万】、営業利益【+65百万】

17/3期業績－ ⑤受注構成の推移

受注高 (億円)

人口 (万人)



(単位：人、百万円)

		2016/3	2017/3	増減
会員数		76,977	77,799	+ 822
利用状況	会員による受注高	2,246	1,993	△ 253
	一般呉服等の受注全体に占める比率	29.3 %	28.5 %	△ 0.8 pt
	平均購入倍率	3.2 倍	3.1 倍	△ 0.1 pt
積立残高総額		3,753	3,779	+ 26
内)積立完了未使用		2,927	2,968	+ 41
未使用の比率		78.0 %	78.5 %	+ 0.6 pt

- 振袖受注件数は増加したものの、入会件数は前年比△2.7%。
入会率は33.0%(前年比△ 3.5pt)
- 呉服・宝飾受注高が減少したことに伴い、会員受注高についても前年比△11.3%。

2018年3月期 利益計画

18/3期計画ー ①単体ベース (金融サービス事業除く)

(単位：百万円、%)

	2017/3 実績		2018/3 計画		前年比
		売上比		売上比	
受注高	11,763		12,440		105.8
売上高(出荷高)	11,665	100.0	12,240	100.0	104.9
売上総利益	7,515	64.4	7,922	64.7	105.4
販管費	7,335	62.9	7,664	62.6	104.5
内) 広告・販促	2,137	18.3	2,201	18.0	103.0
人件費	3,385	29.0	3,430	28.0	101.3
営業利益	180	1.5	258	2.1	143.0
営業外損益	156	1.3	99	0.8	63.6
経常利益	336	2.9	357	2.9	106.2
特別損益	△51	△0.4	△ 2	△0.0	—
当期純利益	171	1.5	232	1.9	135.7

- 広告費……………振袖DM経費の効率化を図るとともに、WEB広告の更なる充実化を図り、総額で、1,230百万円(前年比+20百万円)を計画。
- 販促費……………受注件数増加に伴う変動経費の増加を見込み、総額で971百万円(前年比+44百万)を計画。
- 人件費……………人件費総額としては、前期比微増を計画。

(単位：百万円、%)

	2017/3 実績		2018/3 計画		前年比
		売上比		売上比	
受注高	12,228		12,891		105.4
売上高(出荷高)	12,130	100.0	12,691	100.0	104.6
売上総利益	7,820	64.5	8,219	64.8	105.1
販管費	7,194	59.3	7,515	59.2	104.5
内) 広告・販促	2,138	17.6	2,201	17.3	103.0
人件費	3,396	28.0	3,442	27.1	101.3
営業利益	626	5.2	705	5.6	112.6
営業外損益	137	1.1	78	0.6	56.7
経常利益	762	6.3	782	6.2	102.6
特別損益	△51	△0.4	△2	△0.0	—
当期純利益	450	3.7	508	4.0	112.8
1株利益(EPS)	37.69円		42.54円		112.8
ROE	6.0%		6.8%		

※ 金融サービス事業 寄与額

売上高：+517百万円、営業利益：+379百万円、経常利益：+379百万円

《振袖について》

- ◆ 各エリアの集客状況を詳細に分析し、各店舗に適したDMの発送回数、発送時期を再検討し、広告宣伝費の費用対効果を高める。
- ◆ DM効率化を通じて削減した経費を、WEBを中心とした他のプロモーション経費に置き換え、より効果的なメディアミックスの確立を図り、来店者数の増加を目指す。
- ◆ 販売・レンタル含めた商品ラインアップ、サービス特典のあり方についても常時見直しを行い、成約率、平均単価の向上を目指す。

《一般呉服について》

- ◆ 継続的に、魅力ある商品・催事の拡充を行い、既存顧客全体の更なる活性化を図る。
- ◆ 各不採算催事の是正に向けて、各店ごとに、催事構成・催事スケジュールを抜本的に見直し、受注高の増加以上に収益性の改善を図っていく。

- ◆ 当社では株主還元として安定的かつ継続的な配当を行うことを重視しており、配当金については、当初計画どおりの配当を実施。

<直近3期間の推移(連結ベース)>

	16/3	17/3	18/3(予)
1株当たり年間配当金	42 円	42 円	42 円
配当性向	—	111.4 %	98.7%
純資産配当率	6.1 %	6.7 %	6.7 %

※16/3期の配当性向は、当期純利益がマイナスのため表示しておりません。

注意事項

本資料に記載されている将来の見通しに関する数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

これらの見通しは様々なリスク及び不確定要因を含んでおり、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。